



全ての子どもたちが学ぶ楽しさを実感することができ、先生の負担を減らせる教材を作りたい。

教具部 ● H.K

商品企画担当
教育学部卒
2021年度入社
小学校教諭第一種
中学校教諭一種(家庭)
高等学校教諭一種(家庭)

仕事とやりがい



入社後の研修期間終了後は、教具部企画課に配属され、主に布教材と書道バッグを担当。若手でも「こんな企画やってみたい」「こんなやり方してみたい」と挑戦や提案ができる職場環境なので、ものづくりに携わる責任や楽しさを実感することができモチベーションアップにも繋がる。

近年、学校現場の変化とともに、子どもたちの趣味嗜好もめまぐるしく変化していると感じます。私も仕事をしながら、自分が小学生だった時との状況の違いに、戸惑いを感じることもあります。学校の先生方がどのような教材を求めているのか、子どもたちはどのような教材を「作ってみたい」と感じ、また、達成感を味わうことができるのか、など常にアンテナを張りながら、製品企画をすることが大切だと実感しています。現場のニーズを調査するために、学校の先生方や子どもを対象にモニター調査を実施し、何度も試作や修正を繰り返し、製品化を目指していきます。このように、先生方や子どもたちをはじめデザイナーさん、そして加工業者の方など様々な方の協力を得て自分が企画したものが製品化され、学校現場で採用されることにやりがいを感じています。

One Day

| | |
|-------|--------------|
| 9:00 | ● 課内の打ち合わせ |
| 10:00 | ● 新商品の試作 |
| 12:00 | ● 昼食 |
| 13:00 | ● 取引先との打ち合わせ |
| 15:00 | ● 動画教材の校正 |
| 17:20 | ● 退社 |

■仕事のPOINT

教材に関わる全ての人の視点で考える

教材・教具品は、想像以上に様々な視点で企画を考える必要があると実感しています。教材を使う子どもと指導をする先生方の視点だけではなく、保護者の方や教材を製造する加工所や仕入れ先の方など、教材に関わる全ての人の視点で企画を考えることが、教材作りの難しさであり醍醐味だと思います。



My Time ウィンドウショッピング

もともと新しいものや、かわいいものを見つけることが好きでしたが、入社してから物を見る目線が変わりました。子ども目線で流行りのデザインや、教材に応用できそうな素材などを見つけることが趣味になっています。